

第10回 十和田地域広域事務組合 ごみ有料化等検討委員会会議概要

日 時 平成21年 8月24日(月) 午後1時30分～午後4時00分

場 所 十和田ごみ焼却施設 2階 会議室

出席委員	上野俊治	中橋勇一
	相内一二	松橋均
	種市輝夫	小林光男
	小笠原洋子	小漆館美香
	伊沢義隆	富田義輝
	立花広美	鹿島千恵子
	石坂一広	石川隆一
	酒井正志	小笠原幸子
	竹内操男	遠藤健治

事務局職員 小笠原事務局長、竹内業務課長、佐々木課長補佐、盛田主任主査、沢口主査

〔事務局〕

それでは、開会に先立ちまして、事務局から連絡事項を申し上げます。まず、委員の皆様におかれましては、住民との意見交換会にお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございました。また、本検討委員会委員の就任については、ご快諾を賜り、誠にありがとうございました。前期から引き続き、様々な角度からご意見を賜りたいと存じますので、よろしくお願いいたします。なお、市町村担当課の委員の中で、六戸町と新郷村の人事異動のため、前任者に替わり、六戸町町民福祉課総括主査の鈴木博文さん、新郷村住民生活課厚生グループリーダーの小笠原幸子さんが新たに委嘱されております。

〔開 会〕

〔会長〕

時間がまいりましたので始めさせていただきます。本日の検討委員会は、お手元の次第のとおり、最初に「中間提言に対する意見募集及び意見交換会の結果について」の報告を行い、次に「意見交換会における住民意見の整理と対応について」を検討していききたいと思います。なお、本日の会議は、午後4時ごろをめどに終了していききたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

○次 第

(1) 議 事

- ①中間提言に対する意見募集及び意見交換会の結果について
- ②中間提言に係る住民意見に対する検討委員会の対応について
- ③その他

1. 議 事

①その他

〔会長〕

それでは、議事に入らせていただきますが、会議の進行上、先に議題③その他の案件にいききたいと思います。事務局から説明をお願いします。

○事務局、資料により「青森県内におけるごみ区分ごとの有料化導入状況」「情報提供の新聞記事」について説明。

[会長]

ただいまの事務局の説明について、質問等ございましたらお願いします。

[会長]

せっかく可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみを有料化の対象にしている地域としていない地域を分けていますので、有料化導入前と導入後のごみ排出量とリサイクル率がどう変わったか調べて下さい。

○事務局は、県内の有料化導入前後のごみの排出量及びリサイクル率を調査。

[事務局]

次に、最終提言（案）に向けた次回の検討委員会の日程ですが、9月30日（水）午後1時30分から、この会場での開催をお願いいたします。

[会長]

次の検討委員会は、9月30日の開催でよろしいでしょうか。（異議なし）

②中間提言に対する意見募集及び意見交換会の結果について

[会長]

それでは、次の案件に入らせていただきますが、ここでは、事務局から簡単に意見募集や意見交換会の結果説明をお願いし、詳細については次の案件で行います。それでは、「中間提言に対する意見募集及び意見交換会の結果」について事務局から説明をお願いします。

○事務局、資料により「意見募集及び意見交換会の結果」について説明。

[会長]

ただいまの事務局の説明について、質問等ございましたらお願いします。（なし）

③中間提言に係る住民意見に対する検討委員会の対応について

[会長]

それでは、「中間提言に係る住民意見に対する検討委員会の対応」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局、資料により「検討委員会の対応」について説明。

[会長]

ただいまの事務局の説明について、質問等ございましたらお願いします。私は全部の意見交換会に出席させていただきましたけど、印象からすると、有料化に賛成の人もいれば反対の人もいて、どちらに偏っているということはないと思います。賛成される方は、地域で自分たちはここまでやったから、この先一步進めてほしいというご意見もありましたし、逆にもう少しごみの減量・分別を出来るのではないか、もう少し有料化を待ってほしいというご意見もありました。皆さまの率直な意見を聞かせてください。

○以下、会長の進行により討議。

○委員発言内容

[委員]

私自身は、有料化して思いっきり減量するというきっかけにしたらいいと思っていますが、いきなり導入すると、反発されますのでそれを避けるために、有料化というのを最終手段としてあるというのを見せて、住民の皆さんの意識を上げていくというのが手順だと思います。

[委員]

有料化導入等、成功している地域をモデルに一步進んだ取り組みをし、また住民がルールを守らない人に対して、自ら進んで声かけ出来るような環境作りが必要だと思います。そして事業系ごみ処

理手数料については、近隣地域に比べて手数料が安いので値上げには賛成です。

〔委員〕

私の町内会ではごみの分別・出し方の悪い方に声かけや町内回覧を行なったら、良くなってきましたが、今以上に改善するためには有料化は推進すべきです。そうでなければいつまでたってもごみの分別・出し方が改善されないと思います。

〔委員〕

不法投棄は現在も問題になっています。有料化するためには、行政は不法投棄の対策について準備が必要です。有料化の前にごみの出し方について、ごみ推進委員・立ち番をしている一部の人のみしか理解していません。行政はごみの分別指導も、何回やった、いつまでやったからと住民が理解しなくても辞めてしまいます。もっと力を入れて下さい。

〔委員〕

分別・減量化は全然進んでいないと思います。再度行政は指導が必要だと思います。有料化については、周りの方と話をしてみましたが、皆さんやむをえないと賛成しております。減量化を進めるためにも有料化すべきと考えます。

〔委員〕

私も有料化はやむをえないと思いますが、その前に各市町村の実状に合わせた方法で徹底した分別方法の周知や集団回収を進めるなど、住民の理解、教育させるために勉強会や広報による情報を増やすことが必要だと思います。事業系ごみ処理手数料の値上げについては、適正な料金にすべきだと思います。

〔委員〕

私も有料化はやむをえないことだと思います。ただ、住民の方には、分別の状況とか分別の仕方を分かりやすく説明することが必要だと思います。説明と合わせて有料化にするとみんなごみを分別したり、減量したりするようになると思います。

〔委員〕

青森県内で有料化を実施している地域は半数ありますし、排出者責任、負担の公平化、そういう時代と考えます。また他市町村の有料化実施による減量化・リサイクル率の向上も見られますし、有料化は必要だと思います。ただ、有料化することにより不法投棄が増えますので、前もって対策が必要だと思います。

〔委員〕

有料化は絶対不可欠だと思います。今でも不法投棄はありますがもっと増えると思います。そのためにも厳しい罰則がありますということを、もっと広報等で周知することが必要だと思います。

〔委員〕

有料化は皆さん嫌だと思いますが、説明しますと、仕方がないという意見が私の周りでは多いです。ただ、有料化と提言する前に、自分たちで出来ることの準備期間が必要で、分別の仕方をもっと勉強したり、生ごみの堆肥化を誰でも出来るレシピがあって、試す時間があればいいと思います。

〔委員〕

有料化を始める前に、もっと考えることがいっぱいあると思います。高齢者の方は分別の仕方が分からない人が多いので、手助け出来る環境作りやごみを減量するための方法など、今出来ることで住民みんなで話し合いをする必要があると思います。

〔委員〕

有料化は、ごみ減量・リサイクル向上にいい方法と思っています。しかし、ごみ量は数字をみると年々減ってるので必要ないと思います。減量とは関係なく高くなるというだけでは反発も起きると思います。また不適正排出する人が多くいますが、ごみについて子供の頃から勉強してきていないので知りません。小学校の頃から学べる環境を作ったらいいいと思います。有料化の前に、住民の意識を向上させることが必要だと思います。

〔委員〕

有料化は必要になると思いますが、私個人の意見としては、実質的な増税につながり、住民の負担になると思います。行政の中にいますと生活レベルも見えてきますので、住民のことを考えると有料化には反対です。住民に分別方法も指導していますが、私たちの努力がまだまだ足りないせいか分別に対して意識が高くない印象をもっています。まずは理解してもらうためにどのように指導していくのか、また指導内容については、広域市町村が足並みを揃えるように話合っていくことが大切だと思います。その後、有料化について話合っていけばいいと思います。

〔委員〕

全国的な方向が有料化に向かっているので、いずれは有料化が必要になると思います。ただし現状は、景気があまり良くないので住民の負担が増えます。すぐにというのは、避けたほうがいいと思います。

〔委員〕

住民の方は意見交換会の時に、どのような認識をもっていたか分かりませんが、有料化に反対はありませんでした。有料化について今後も住民と行政がもっと話合っていければいいと思っています。

〔委員〕

意見交換会に出席した人数をみると、住民の方が、有料化・減量化を考えているのか、浸透しているのか疑問に思います。有料化にした場合ですが、本当にリサイクル率が向上するのか疑問に思います。「お金をだしているから少しくらい混ざっていても持っていけ」という人もあると思います。例えば有料化した場合は、資源でも有価に出来るものに関していえば、この間も話にありましたが、タダにするという感じであればいいと思います。事業系のごみ処理手数料値上げについては、現状が一番いいのですが、上げるのであれば、すぐにとっても困ります。業者への説明や計量器付ごみ収集車等の設備投資などありますので、準備期間を考慮して欲しいです。

〔委員〕

有料化というのは時代の流れだと思います。有料化になっていくのは現状をみれば仕方ないと思います。何回か集まって有料化するかしらないかよりも、有料化するということで、いつから実施するのかというのを決めて、それに向かって住民にどういうことをやっていくのか説明していく段階にきていると思います。

〔委員〕

行政の担当者の意見を聞いていると、有料化について後ずさりしているように聞こえます。本当に皆さんは住民に説明をしているのかと思います。今でも、ごみ処理するのにお金がかかっています。ごみ袋も多く出している人と減量を頑張っている人でも負担が同じというのはおかしいと思いませんか。それだったら有料化して、ごみを出す量によって手数料を払うほうが、高齢者などにはプラスになると思います。また、リサイクルをもっと推進すれば、町内会の利益になるので、ごみを出すより減量化になると思うのですがどうして有料化に反対するのか不思議に思います。

〔委員〕

減量には分別が一番大事で、その中でも可燃ごみをきちんと分別することが減量になると思います。生ごみ、紙類をちゃんと分別しないのに、有料化すると進んでいくのは問題があると思います。生ごみを堆肥化すれば減量にはつながるので、話し合いが必要です。

〔会長〕

意見交換会で私が感じたことは、確かに組合は色々データを持っていますし、行政も住民に対してそれなりに努力していたのは分かりますが、住民の意識が向いていないので、いくら情報を出しても、見ていないから知らないという状態だと思います。この状態で住民に負担をかけるような方向で最終提言を出しますと、反感を招くことになります。そこで、6回の意見交換会で住民から出た意見を自分なりにまとめたり、我々が出した中間提言の施策を色々組み合わせってみました。これが方針ではありませんが、こんな方向に進むのではないかと考えています。組合、行政、住民が出来ることか出来ないことか分かりませんが、分類してまとめてみたので各自検討していただき、次回までに意見を出していただきたいと思います。

[会長]

最後に事務局から何かございますか。

[事務局]

本日は、長時間にわたりましてご議論いただきありがとうございました。次回の検討委員会の開催については、郵送にてご案内させていただきます。

[閉 会]

[会長]

それでは、これをもちまして、本日の検討委員会を閉会させていただきます。お忙しいところありがとうございました。